

The Japan Association of Radiological Technologists  
ネットワーク・ノウ

# Network

# Now

2020 No.535

7/1

JART情報  
<http://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会  
〒105-6131 東京都港区浜松町2-4-1  
世界貿易センタービル31階  
TEL. 03-5405-3612 FAX. 03-5405-3613



## 第81回 公益社団法人 日本診療放射線技師会 定時総会 開催される

2020年6月6日(土)午後2時より、本会事務所において第81回公益社団法人日本診療放射線技師会定時総会が開催された。本総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策としてWebシステムを導入し、総会の様子を中継することで全国の代議員に配信した。

佐野副会長による開会の辞に続き、中澤会長から3つの話があった。1つ目は、コロナウイルスに感染して亡くなられた方へのご冥福と療養中の方へのお見舞いととも、医療現場で最善を尽くしている診療放射線技師への感謝が述べられた。2つ目は、本会から厚生労働大臣をはじめ各方面に要望書を提出したことについてであった。3つ目は、医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会に関連し、CT・MRI・RI検査での静脈路確保、RI注入装置の接続・操作、RI検査時の抜針、CTC検査時のチューブ挿入について、今後、パブリックコメントを求め、国会で可決された際には各都道府県と連携し、新たな統一講習会のための準備を行うとした。

次に、2019年度物故者36人に黙とうがささげられた。

総会運営委員会 柿本委員長より、議事は書面表決を行い、代議員193人のうち191人による表決票の提出を受け、定款第18条に基づき本総会の成立が告げられた。総会議長は界外忠氏(三重県)、安彦茂氏(宮城県)が選任された。

報告事項として、「2019年度事業報告」の総括が中澤会長より、「2019年度決算報告」が小田理事より説明された。独立監査人による監査報告では、大光監査法人より公正妥当と認められると報告された。本会の監査報告では、新開監事より法令および定款に従っていると報告され、いずれも承認された。なお、全ての質疑については事前にメールで受け付け、執行部からメールによる回答文を配信しており、そちらを参照することとされた。

議案として、第1号議案の「2020年度事業計画(案)」が



中澤会長より、第2号議案の「2020年度予算(案)」が小田理事より説明された。また第3号議案の「定款改正(案)」は、理事のうち3人を副会長とし(現行2人)、業務執行理事を4人(現行3人)とすることについて熊代副会長から提案があり、全て賛成多数で承認された。第4号議案の「2020年度・2021年度役員選任について」では、候補者について代議員による事前投票が行われ、総会当日にあらかじめ開票した結果が議長より発表された。役員選任規程第8条に基づき、監事候補者3人のうち3人、会員外理事候補者3人のうち3人、地域理事候補者8人のうち8人、全国理事候補者19人のうち14人が選任された。第5号議案の「代表理事候補者・業務執行理事候補者選任について」は、理事会で代表理事・業務執行理事を選任することを問う議案であり、賛成多数により可決され、選任された理事らにより理事会が開催された。

理事会終了後に、代議員に向けて上田克彦新会長からのあいさつが発信され、全ての議案が終了した。

最後に閉会の辞として、熊代前副会長より多くの質問に対し感謝の意が述べられた。なお、本総会の詳細な内容は、会誌に掲載予定の総会議事録(抄)を参照されたい。



新会長 ことあさつ

<http://sctt.sakura.ne.jp/sewaninn/ueda.mp4>

# 日本診療放射線技師会 2020年度・2021年度 新執行部

## 会長



上田 克彦  
山口県

## 副会長



江藤 芳浩  
大分県 (九州地域)



富田 博信  
埼玉県



児玉 直樹  
新潟県

## 監事(外部監事)



横田 崇  
東京都

## 監事



新開 英秀  
福岡県



小川 利政  
大阪府

## 理事(外部理事)



豊田 長康  
三重県



西貝 圭子  
東京都



鈴木 毅厚  
東京都



理事 (地域理事)



富田 伸生  
北海道 (北海道地域)



船水 憲一  
青森県 (東北地域)



小黒 清  
栃木県 (北関東地域)



篠原 健一  
東京都 (南関東地域)



山本 英雄  
静岡県 (中日本地域)



高嶋 敏光  
奈良県 (近畿地域)



茂木 大志  
愛媛県 (中四国地域)

理事(全国理事)



廣木 昭則  
佐賀県



中村 泰彦  
福岡県



大野 肇  
北海道



中村 勝  
愛知県



藤井 雅代  
東京都



江田 哲男  
東京都



松田 恵雄  
埼玉県



江端 清和  
福井県



吉川 典子  
岐阜県



北村 秀秋  
千葉県



西川 祝子  
千葉県

事務局長



上島 隆

# 就任のごあいさつ



会長

上田 克彦

第81回総会において理事に選任いただき、会長に就任致しました。

本役員を目指す経緯からお伝えしたいと存じます。業務拡大、カリキュラム改正は診療放射線技師の未来を左右する重要な案件ですが、本来目指している目標が診療放射線技師の中で順調に進んでいるとは思いませんでした。

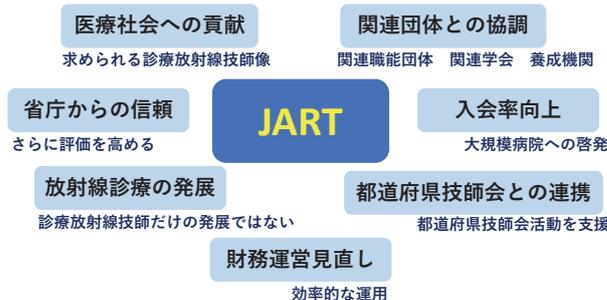
私は全国国立大学放射線技師会の会長として、関係省庁や他団体と情報を交換する機会も増えましたが、診療放射線技師の立場は決して高く評価されている訳ではないと感じています。こういった状況を脱却するために、本会には対話と協調の姿勢が必要と考えています。つまり内外にオープンな組織として活動することが必要となります。

業務拡大事業においては、現場で活躍されている会員の声を十分に聴取し、より高度な業務を行う上での責任についても、さらに議論を進めるべきであると考えています。

また会員数を増やすことと財務運営の見直しを図ります。会員数の目標は4万人と考えています。

診療放射線技師は社会においてなくてはならない存在であり、もっと社会に知ってもらふ必要もあります。これまで原

## 対話と協調の時代 信頼される放射線診療の将来のために



上田克彦 2020年6月6日

子力災害時の支援活動で評価を受けたように、今回も新型コロナウイルスに立ち向かった診療放射線技師が正当に評価を受ける時代にしましょう。

そのためには、各都道府県技師会の皆さまの協力が必須です。本会は都道府県技師会をサポートする立場で活動します。

新型コロナウイルスの影響で、これまでとは異なる事業体制になるかもしれません。目標とする会員増や各団体との調整は簡単な道のりではないかもしれません。私たち診療放射線技師のあるべき姿を考える時、私たちだけではなく患者さんから、医師から、他職種から、省庁からどう求められているか再認識する必要があります。これらの目標を成功させなければ、若い診療放射線技師の未来はないと考えています。社会に信頼される診療放射線技師業界となるため、会長として全力を尽くします。



副会長

江藤 芳浩

会員各位におかれましては、平素より本会事業にお力添えを頂き感謝を申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大は本邦において経験したことのない事態を招いておりますが、医療物資も不足する状況で自己犠牲の精神を発揮し、最前線で業務を行う医療従事者、診療放射線技師の皆さまに心より敬意を表します。

さて、私こと、このたびの第81回定時総会におきまして、地域理事を重任(3期目)し、総会後に開催された2020年度第3回理事会におきまして、副会長の重任を拝命致しました。微力非才の身ではございますが、上田会長をはじめ役員各位のお力添えを頂きながら、本会発展のため使命感をもっ

て職務に尽力致す所存です。今後とも一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

本総会では、上程した2020年度事業計画などの議案全てに承認を頂いたところでございますが、新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立たない状況であり、各種イベント・会議などの開催につきましては引き続き慎重に行っていく必要がありますので、会員各位のご理解・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。特に第36回日本診療放射線技師学術大会開催につきましては、新型コロナウイルス感染症に伴い会員の皆さまにご心配をお掛けしております。また立花茂大会長をはじめ宮城県放射線技師会の皆さまには大変なご苦勞をお掛けしているところでございますので、開催方法などについて速やかに結論を出す必要があります。また事業計画におきましては、秋の事務所移転と新JARTISの構築に向けた検討を引き続き行うこと、抜針・止血に関する統一講習会および診療用放射線に係る安全管理体制に関する規定が施行されたことによる医療放射線安全管理責任者講習会の本年度開催について、医師の働き方改革を進めるためのタスク・

シフト/シェアの推進と、診療放射線技師の新たな役割拡大を見据えた取り組みに関する検討、診療放射線技師学校養成所カリキュラムに追加される教育目標・内容に対応する診療放射線技師への講習会計画に関する検討、関係医療団体や日本診療放射線技師連盟との連携など、引き続き進めていく必要があると考えています。



副会長  
**富田 博信**

このたび、第81回定時総会において全国理事に再選していただき、同日の第3回理事会で副会長を拝命致しました。私は本会の全国理事を4期8年務めさせていただき、主に編集委員会を中心に担当してまいりましたが、今回、副会長の大役を任命いただき、身の引き締まる思いです。

昨今、新型コロナウイルス感染症による社会の変化、診療放射線技師業務拡大、医療法施行規則の一部改正など、われわれを取り巻く状況は大きく変化しております。本会も時代の変化に柔軟かつ先進的に対応し、あらゆる場面において、会員の皆さまに還元できればと思っております。

今期、私の仕事としましては、従来の編集委員会も兼務させていただき、先の総会選挙に先立ち自身の抱負にも挙げましたが、論文投稿システムの電子化を構築し、2020年秋ごろから運用することで、論文投稿の利便性を大幅に向上させたいと思っております。また本会英語版会誌は年に1回発行しておりますが、本誌のPubMed Central (PMC) への申請を実現させることで、PubMedの検索対象にも含まれる

本会の各種事業を円滑に進めていくためには、全国地区技師会との連携、相互の協力体制の充実が必要でございますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、何とぞお願い申し上げます。

末筆でございますが、会員各位のご健康とますますのご活躍をお祈り申し上げます。

ようになり、全世界で論文の閲覧機会が大きく広がり、さらには投稿論文の質も向上し、最終的にはインパクトファクターを獲得することも視野に入れております。この取り組みは、修士・博士の学位取得を考えている多くの会員の皆さまにも大きな貢献ができると思っており、着実に実行してまいりたいと思っております。

副会長の実務は、全体をまとめることも重要であると考えておりますので、JART本部理事・委員・事務局の結束を図り、さらには全国の診療放射線技師が一つにまとまるよう、あらゆることを検討し実践してまいりたいと思っております。

わが国の医療職の中で、診療放射線技師の絶対数は10万人にも達していません。例えば100万人以上の看護職と比べると、集団としては決して強い方ではないと思います。従ってわれわれ診療放射線技師が、対外的にも一つのチームとして結束することは、今後の社会的地位向上や国民からのさらなる理解を得られるようにするためには必須と考えます。5年、10年先を見据えた提案を多くさせていただきたいと思っておりますので、全国会員の皆さまにおかれましては、ご理解とご支援を賜りたく存じます。

新執行体制になりましたが、われわれのこの素晴らしい日本診療放射線技師会を築き上げてこられた諸先輩方に敬意を表し、さらなる発展のために尽力してまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



副会長  
**兎玉 直樹**

このたび、日本診療放射線技師会副会長を務めることになりました兎玉直樹です。大変光栄に思いますとともに、責任の重さに身の引き締まる思いです。会員の皆さま方のご支援を賜りながら、この大役に取り組んでまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

まず、今般の新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになった方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、感染された方々やそのご家族、不安の中におられる方々に対して、心よりお見舞いを申し上げます。また新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中、医療機関や保健所などの最前線でご尽力いただいている会員の皆さまに、心より敬意を表します。

さて、診療放射線技師を取り巻く環境は刻々と変化してお

り、迅速かつ適切な対応を迫られています。「自ら声を上げ、スピード感を持って行動する」を基本姿勢とし、今後、さらに活動量を増やしてまいりたいと思っております。またアフターコロナを見据え、世界経済の構造にどのような変化が起きるかを想像しておく必要があります。特に、従来の枠組みにとらわれず、働き方改革、人材育成、社会保障、タスク・シフト/シェアなどについて問題意識を持ちながら、迅速に対応していく必要があります。とりわけ若い世代に希望を与え、診療放射線技師として責任ある業務が全うできるような仕組みづくりを、一層のスピード感を持って取り組んでまいります。

2021年には東京で第23回アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会 (AACRT) が開催されます。新型コロナウイルス感染症がどのような状況になっているか予想することは困難ですが、若い世代の診療放射線技師が積極的に関与し、活躍できる場を提供していきたいと考えています。これらの活動は会員向けに積極的に公開し、会誌やホームページを通じて伝えていきたいと考えています。会員の皆さまにはご支援とご協力を賜りますようお願い致します。

## 新旧会長引き継ぎ式 執り行われる

2020年6月15日(月)、本会事務所において新旧会長による引き継ぎ式が、現職の上田克彦会長、富田博信副会長、前執行部の中澤靖夫前会長、小田正記前理事の出席の下で執り行われた。

引き継ぎ式の中では、新旧会長より診療放射線技師法改正の展望、業務拡大の中でのラジオロジープラクティショナー

(アシスタント)制度など、今後の診療放射線技師の在り方などについても話題になり、和やかな雰囲気の中で行われた。最後に上田会長より、中澤前会長を中心に築かれたこの素晴らしい日本診療放射線技師会のさらなる発展を誓う言葉があり、引き継ぎ式は滞りなく終了した。



## 室野井 廣 会員外監事 退任される

2012(平成24)年度より、本会会員外幹事としてご就任いただいております室野井廣監事が、第81回定時総会を最後に退任されました。総会終了後、藤井雅代理事より花束が贈呈されました。4期8年の長きにわたり本会の監査をお務めいただきましたことに、改めて感謝を申し上げます。



## JART求人広告掲載について

会誌に掲載する診療放射線技師募集の求人広告を随時受け付けております。申込書ならびに募集要項につきましては、本会ホームページ(各種様式→その他)よりダウンロードしてご確認ください。

なお、掲載月の前月5日が掲載申し込みの締め切りとなっております。

## JIRA 山本章雄新会長 来所される

2020年6月11日(木)、日本画像医療システム工業会(JIRA)の山本章雄新会長、稲葉潔業務執行理事、渡辺良事務局長が、本会上田新会長へ新任のあいさつに本会事務所を訪れた。本会からは、富田(博)新副会長、上島事務局長も同席した。新型コロナウイルス感染症によって社会が大きく変化していくことも踏まえ、両会が今後も良好な関係を続けていくことを確認しつつ、今後の医療界の展望などについて懇談した。近日中に両会長の対談を行う予定であり、本会会誌の特集で掲載するのでご期待いただきたい。



## 2020年度 第2回理事会(臨時)開催される

2020年6月1日(月)午後7時より、2020年度第2回理事会(臨時)が開催された。本理事会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本会事務局を発信元としてWeb会議システムを用いて行われた。

議題は、「第36回日本診療放射線技師学会について」であり、宮城県放射線技師会の立花茂大会長ならびに実行委員会から要望書が提出されたことを受けた内容である。要望書の主な内容は、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、全国的に発令された緊急事態宣言が解除されたものの「第2波」の影響などが計り知れないこと、イベント実施時における感染予防対策「3密」の回避を行うことが事実上困難であることなど、安全な学会大会の開催は難しいとの結論に至り、第36回学会大会の中止を要望することについてで

あった。本理事会でも立花大会長を交え、提出されたさまざまな資料を基に慎重に審議を重ねた末、以下の内容が決議された。

1. 予定している10月23日(金)から25日(日)までの大会開催は中止する。
2. 7月開催予定の理事会において、大会開催時期を2月へ延期することと併せ、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からWeb開催を中心に実施することについて慎重に審議した上で、大会開催の是非について決議する。

詳細な議事の内容については、会誌に掲載予定の2020年度第2回理事会(臨時)議事録(抄)を参照されたい。

## 本会への入会手続きについて(お知らせ)

ホームページからでも、書類でも・・・本会への入会は、次のいずれかの方法によりお手続きいただけます。

- 1 本会ホームページ (<http://www.jart.jp>) から“新規入会はこちら”をクリック
- 2 書類のご提出

書類のご提出によるお手続きの場合は「申込書」を本会事務局までご請求ください。

TEL : 03-5405-3612 E-mail : [info@jart.or.jp](mailto:info@jart.or.jp)

ぜひ周りの非会員の方に、お知らせください。

## 2020年度 第3回理事会 開催される

2020年6月6日(土)、Web配信による定時総会が行われ、第5号議案が可決された後、2020年度第3回理事会が開催された。

本理事会も定時総会と同様にWeb会議システムを用いて、定時総会により任命された監事および理事らが出席した。江田理事の司会進行の下、議案である代表理事および業務執行理事の選任が行われた。会長1人および副会長3人、そして業務執行理事に副会長を除く1人の候補者が自薦他薦によ

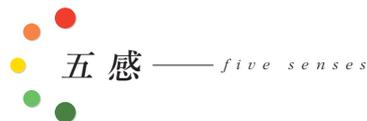
り挙げられ、獲得票数により、上田克彦会長(山口県)、江藤芳浩副会長(大分県)、富田博信副会長(埼玉県)、児玉直樹副会長(新潟県)、中村勝業務執行理事(愛知県)が選任され、全て承認された。最後に、上田会長から閉会の辞が述べられ本理事会は閉会した。

詳細な議事の内容については、会誌に掲載予定の2020年度第3回理事会議事録(抄)を参照されたい。



## 運命に挑み、使命に燃える

シリーズ連載  
series serialization



菅官房長官が平成に代わる新しい元号を「令和」と発表してから、1年がたったと思ったのもつかの間、気が付けばもう7月となり、年を重ねるごとに1年(時間)が短くなる気がして漠然とした焦りを感じます。

さて、この「令和」の元号発表の時にマスコミでよく比較されたのが、「平成」を発表した小渕恵三官房長官(後の第84代内閣総理大臣)です。この発表会見の様子は、日本がバブル景気で勢いづく時代背景と昭和から平成への時代変遷を象徴する映像として利用され、小渕氏は「平成おじさん」として今なお多くの国民に記憶されています。小渕氏は敵を作らない性格から「人柄の小渕」といわれたようで、自由党・公明党と連立政権を樹立して政治を行いました。が、残念ながら2000年に病に倒れています。

小渕氏の座右の銘は「宿命に生まれ、運命に挑み、使命に燃える」だったそうで、この言葉を知った時、とても感銘を受け

たことを覚えています。一般的には、宿命は生まれる前から決まっていて自分の力では変えることのできない天命。運命は人の意思を超えて身の上にかき起こる禍福。使命は与えられた重大な任務という意味です。確かに生まれる場所や両親などの宿命は変えることはできません。しかし、自身の経験や苦勞が今に生きているとか、あの人との出会いが自分を変えたのだということはよくあることで、自分の思うようにならない時に運命だと諦めるのではなく、運命は自分の行動や努力によって変えるものであり、常に挑むものだということです。その上で、自分に与えられた大きな課題や役割を使命だと思って取り組む姿勢が、人生においてとても大切だと小渕氏は言っているのでしょう。

年を重ねるごとに「運命に挑み、使命に燃える」という言葉の意味を少しずつ感じるようになったことは、気持ちを前向きにしてくれます。(文責:江藤芳浩)

# 第36回日本診療放射線技師学術大会開催について

第36回日本診療放射線技師学術大会について、これまで開催に向けて準備が進められてきたが、2020年5月18日(月)、本大会の大会長〔宮城県放射線技師会会長〕より、本会会長宛てに、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑みて、大会中止について検討願いたい旨の要望書が提出され、6月1日(月)に開催された臨時理事会において、**予定している10月23日(金)から25日(日)までの開催は中止が決定した。**また次回理事会において、**大会開催時期を2月へ延期することやWeb開催について検討**することになった。詳細が決定次第、広報させていただきます。

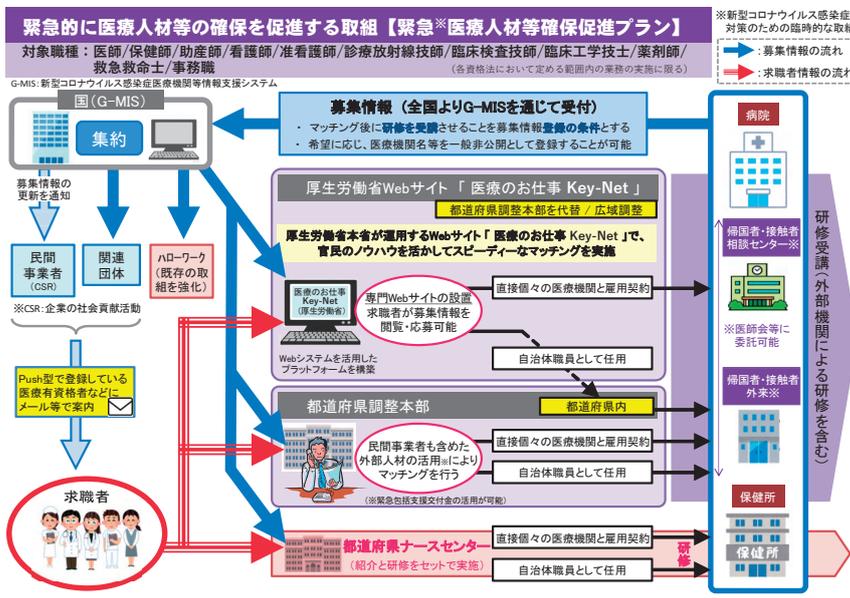


INFORMATION

# 厚生労働省「緊急医療人材等確保促進プラン」について

新型コロナウイルス感染症に対応する医療人材などの緊急的な確保を促進するため、厚生労働省では「緊急医療人材等確保促進プラン」を実施することとなり、本会でもこの取り組みに協力することとした。今後、厚生労働省から診療放射線技師募集の情報が入り次第、ホームページなどに掲載させていただきます。

厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部からの事務連絡【厚生労働省に開設するWebサイト「医療のお仕事 Key-Net」等を通じて行う医療人材等の緊急的な確保を促進するための取組(緊急医療人材等確保促進プラン)の実施に向けた準備について】は<https://www.mhlw.go.jp/content/000634541.pdf>をご参照いただきたい。



(厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部より提供)



# 医療従事者等に感謝と敬意

2020年5月29日(金)午後0時40分頃から約20分間、新型コロナウイルス感染症に対応する医療従事者等に感謝と敬意を示すため、東京都心の青空の中、航空自衛隊のブルーインパルス6機が編隊飛行をした。東京上空を2周する様子が本会事務所からも確認できた。一日も早く新型コロナウイルスが終息することを願う。

INFORMATION

## 事務局よりJARTIS更新に伴う休止期間のお知らせ

INFORMATION

会員情報システム(JARTIS)更新のため、2020年7月20日(月)午後から8月10日(月・祝)までアクセスできなくなります。会員の皆さまにおかれましては大変ご不便をお掛け致しますが、何とぞご理解のほどよろしくお願い致します。上記期間において、急ぎの対応は事務局会員係までご連絡ください。

■ 本件に関するお問い合わせ：公益社団法人日本診療放射線技師会 事務局会員係 TEL：03-5405-3612

## 7月・8月の講習会などスケジュールのご案内

INFORMATION

■ 日本診療放射線技師会・日本放射線技術学会 合同公開市民講座： 熊本 8月22日(土)

## ホームページ閲覧のお願い

INFORMATION

「業務拡大に伴う統一講習会」および「診療放射線技師基礎技術講習」の開催日程につきましては、ホームページで随時更新しておりますので、そちらをご参照ください。

■ 「業務拡大に伴う統一講習会」開催日程：[www.jart.jp/activity/lifelong\\_study/schedule.html](http://www.jart.jp/activity/lifelong_study/schedule.html)

第4回：大阪 8月22日(土)～23日(日)

※感染防止策を講じた上で8月から再開する方針と致しました。  
(なお、第4回は定員に達したため、締め切りました。)

■ 「診療放射線技師基礎技術講習」開催日程：[www.jart.jp/activity/lifelong\\_study/ib0rgt000000603l.html](http://www.jart.jp/activity/lifelong_study/ib0rgt000000603l.html)

## 会員情報システム(JARTIS)更新に伴う、会費・受講料等の支払い方法の変更について

INFORMATION

本会では、会員の皆さまの会費・受講料等の支払いの利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化に向けた取り組みを推進しております。

このたびのJARTIS更新に伴い、以下の通り支払い方法の変更を計画しております。

まず、8月初旬の新JARTIS稼働に合わせて従来の方法に加え、これまでご要望の多かった「クレジットカード払い」ができるよう変更し、その後、2024(令和6)年度をめどに完全ペーパーレス化を進めてまいります。

皆さまにおかれましては、ご承知おきいただくとともに、移行に当たりご協力を賜りますようお願い申し上げます。

公益社団法人日本診療放射線技師会 財務委員会・事務局

### 会費・受講料等の支払い方法について

	2019 (令和1) 実績	2020 (令和2) 7/9まで	2020 (令和2) 8/10	2021 (令和3)	2022 (令和4)	2023 (令和5)	2024 (令和6)	2025 (令和7)	2026 (令和8)
コンビニ払込票	25,493	●	●	●	●	●	●		
コンビニペーパーレス	2,600	●	●	●	●	●	●	●	●
郵便局	8,596	●	●	●	●				
銀行払込票	1,107	●	●	●	●				
銀行ペーパーレス	-	▲	▲	▲	▲	●	●	●	●
クレジットカード	-		●	●	●	●	●	●	●

- 1 新情報システムリリース(2020(令和2)年8月10日)より、クレジットカード払いに対応致します。
- 2 2022(令和4)年度をもって、郵便局および銀行払込票を中止致します。
- 3 2023(令和5)年度より、銀行ペーパーレスを本格的に実施致します。
- 4 2025(令和7)年度より、完全ペーパーレス化致します。
- 5 会員の支払い方法の割合により、計画は前後することがあります。
- 6 今後、社会において新しい支払いサービスが登場したら、随時検討致します。

事務所  
案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。  
ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日～1月3日)は執務致しません。